

実績からみた介護保険事業

高齢者福祉推進室

介護保険課

目 次

[]	保険料の収入	
1	介護保険料の調定額と収入額	2
2	調定額と収入額の年度推移	3
3	特別徴収と普通徴収の構成比	3
4	特別徴収と普通徴収の収納率	4
5	所得階層別の収入状況	5
[]	要介護者等の状況	
1	要介護等認定者数と介護サービス受給者数	8
2	要介護等認定者の出現率（国、都比較）	9
3	新宿区における要介護等認定者の出現率	10
4	要介護等認定者の要介護度別内訳（国、都、区部比較）	11
5	要介護度別にみた要介護等認定者数の年度対比	12
[]	介護保険サービスの利用状況	
1	施設サービスと居宅サービス	13
(1)	サービス利用者数の比較	14
(2)	保険給付金額の比較	15
(3)	サービス未利用者の状況	16
2	居宅サービスの利用状況	17
(1)	居宅サービス利用者一人当たりの保険給付金額	18
(2)	居宅サービス利用者の要介護度等別内訳	19
(3)	居宅サービス種類別の利用割合	20
(4)	居宅サービス種類別保険給付金額の構成比	21
(5)	要介護度等別の保険給付金額	22
(6)	区分支給限度額に対する利用割合	24
(7)	居宅サービスの利用特性（参酌標準と利用実績の比較）	26
(8)	居宅サービスの計画目標量、給付見込量と利用実績	28
3	施設サービスの利用状況	33
(1)	施設サービス利用者の施設種類別割合	34
(2)	施設サービス利用者の要介護度等別内訳	35
(3)	施設サービス種類別利用人数	36
(4)	施設サービス種類別給付金額	37

…… 本資料の留意点 ……

- ・ 本資料は、主に東京都国民健康保険団体連合会（国保連）が提供するデータ（東京都介護保険給付システムによるデータ）を基礎に、一部に区独自データ、国及び都の公表したデータを加えて作成した。
- ・ 月別、年別の集計は、一部の例外を除きサービス提供事業者から国保連に提供されたレセプトを国保連が審査した月、年としている。（一般的に、サービス利用月の翌月にサービス提供事業者から国保連にレセプトが送付され審査が行われるが、事業者の理由により月遅れで請求することもある。）
この理由により、月別に集計した給付関連データの初月は、平成 12 年 5 月となっている。
- ・ 同様の理由により、区の会計上の決算数値とは一致しない。
- ・ 集計上の端数処理のため、合計数が一致しなかったり、百分比の合計が 100%にならないものがある。
- ・ 資料中、要支援者、要介護者をあわせて「要介護者等」「要介護等」と表記したところがある。
- ・ 資料を比較する都合上、月末現在の数値を翌月分とみなして扱ったものがある。
- ・ 制度開始直後の数ヶ月については、以下のことに留意して数値をみる必要がある。
 - サービス提供事業者から国保連に提出されたレセプトについて内容に誤りがある等の理由で返戻され、月遅れで再提出・審査が行われたケースが相当数あったこと。
 - 国保連の審査支払処理システムに不具合があり、国保連側の処理に相当の遅れが生じたこと。
 - 平成 12 年度上半期の集計数値が安定していない理由は、この 2 点によるところが大きいと考えられる。

保険料の収入状況

保険料の収入状況

1 介護保険料の調定額と収入額

平成 1 2 年度		単位：円	
区分	調定額 A	収入額 B	収納率（％） $C = B / A$
現年度分	508,623,420	498,747,904	98.06%
特別徴収	384,780,268	384,780,268	100.00%
普通徴収	123,843,152	113,967,636	92.03%
合計	508,623,420	498,747,904	98.06%

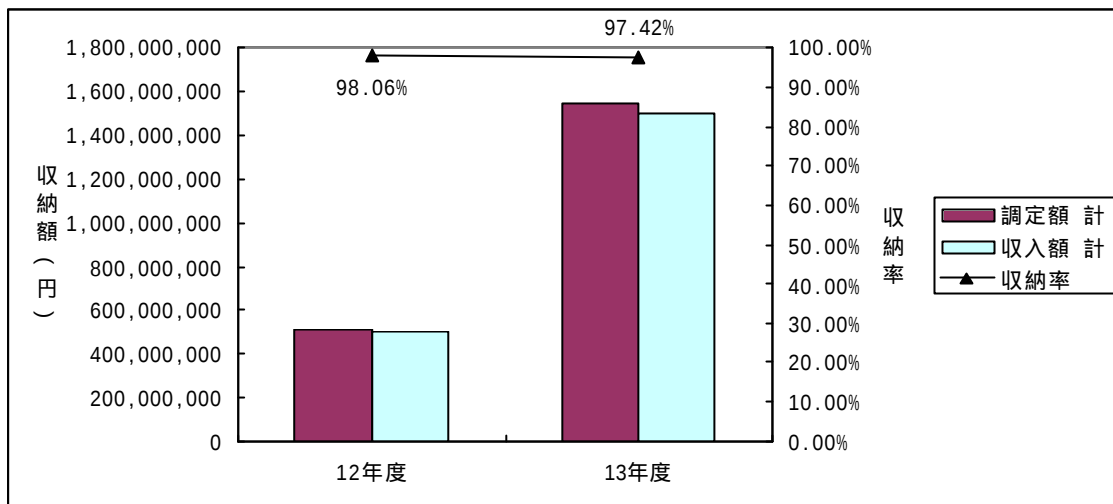
平成 1 3 年度

単位：円

区分	調定額 A	収入額 B	収納率（％） $C = B / A$
現年賦課計	1,532,556,651	1,498,288,395	97.76%
特別徴収	1,149,334,716	1,149,334,716	100.00%
普通徴収	383,221,935	348,953,679	91.06%
滞納繰越分	9,795,888	4,250,852	43.39%
合計	1,542,352,539	1,502,539,247	97.42%

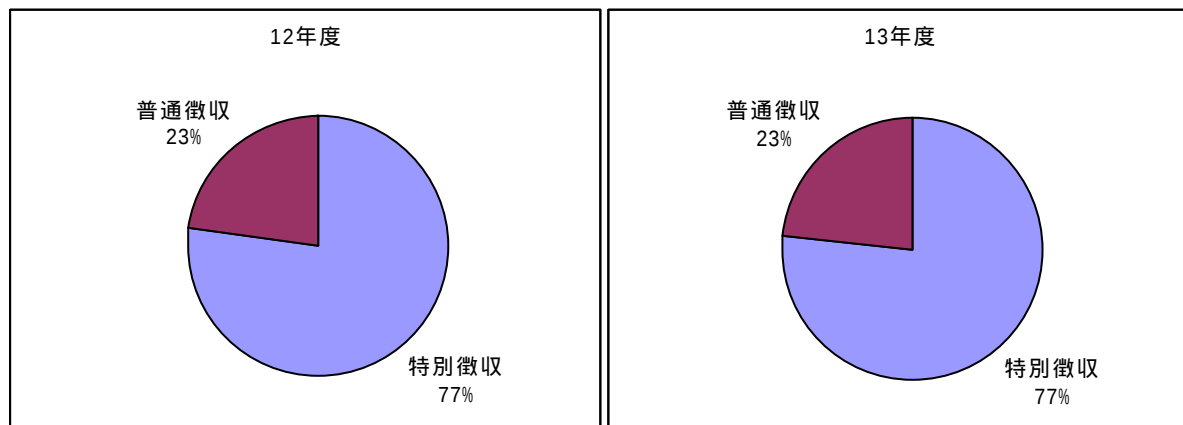
・平成 1 2 年度分は、制度開始年のため過年度分、滞納繰越分はない。

2 調定額と収入額の年度推移



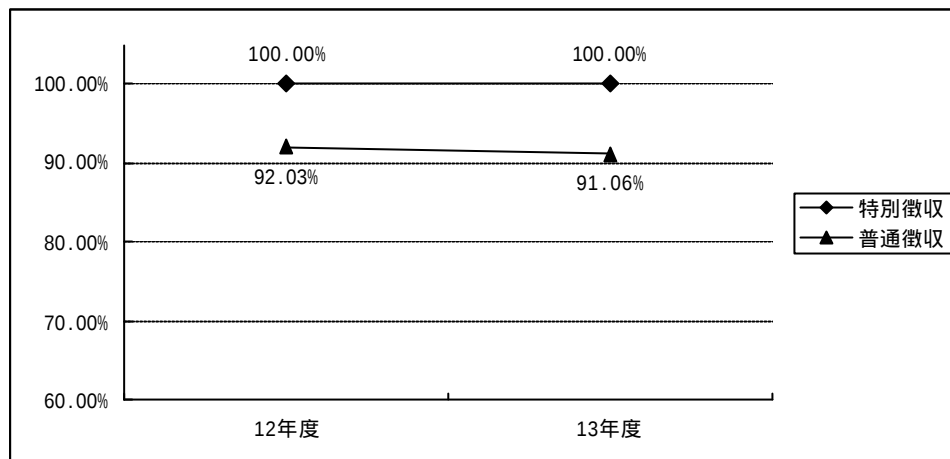
- ・調定額と収入額を年度別に示している。

3 特別徴収と普通徴収の構成比



- ・現年度保険料収納分における、特別徴収と普通徴収の構成比を示している。

4 特別徴収と普通徴収の収納率



- ・収入区分の内、特別徴収と普通徴収分について収納率を示している。

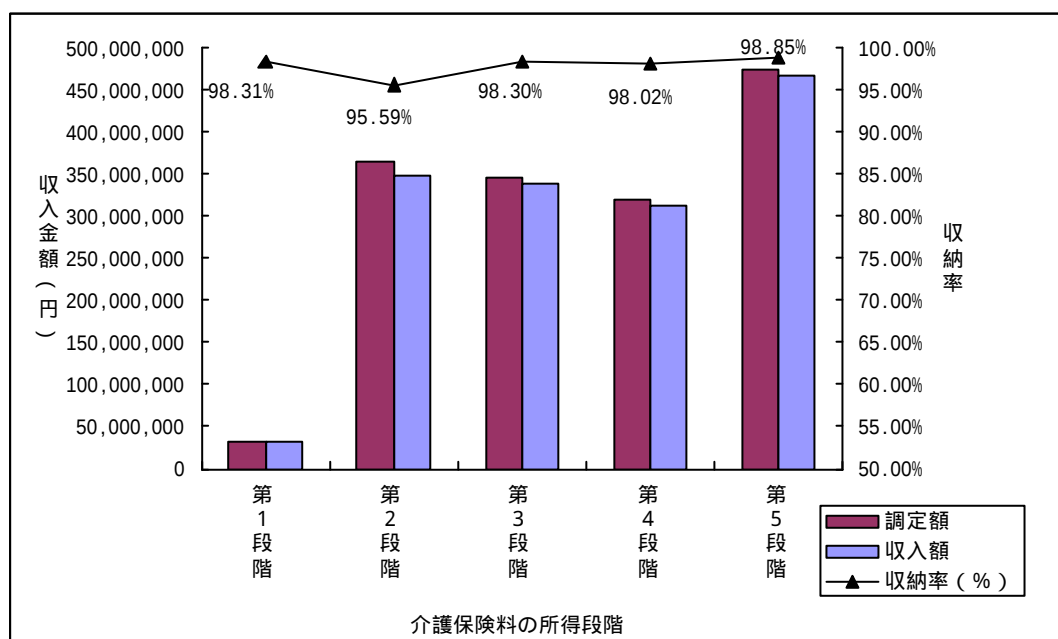
5 所得階層別の収入状況

平成 13 年度分

単位：円

段階	調定額	収入額	収納率（％）
第 1 段階	31,665,281	31,130,704	98.31%
第 2 段階	364,616,438	348,535,846	95.59%
第 3 段階	344,770,826	338,894,684	98.30%
第 4 段階	318,947,792	312,623,285	98.02%
第 5 段階	472,556,314	467,103,876	98.85%
計	1,532,556,651	1,498,288,395	97.76%

・平成 13 年度の、介護保険料所得段階別の収入状況を示している。

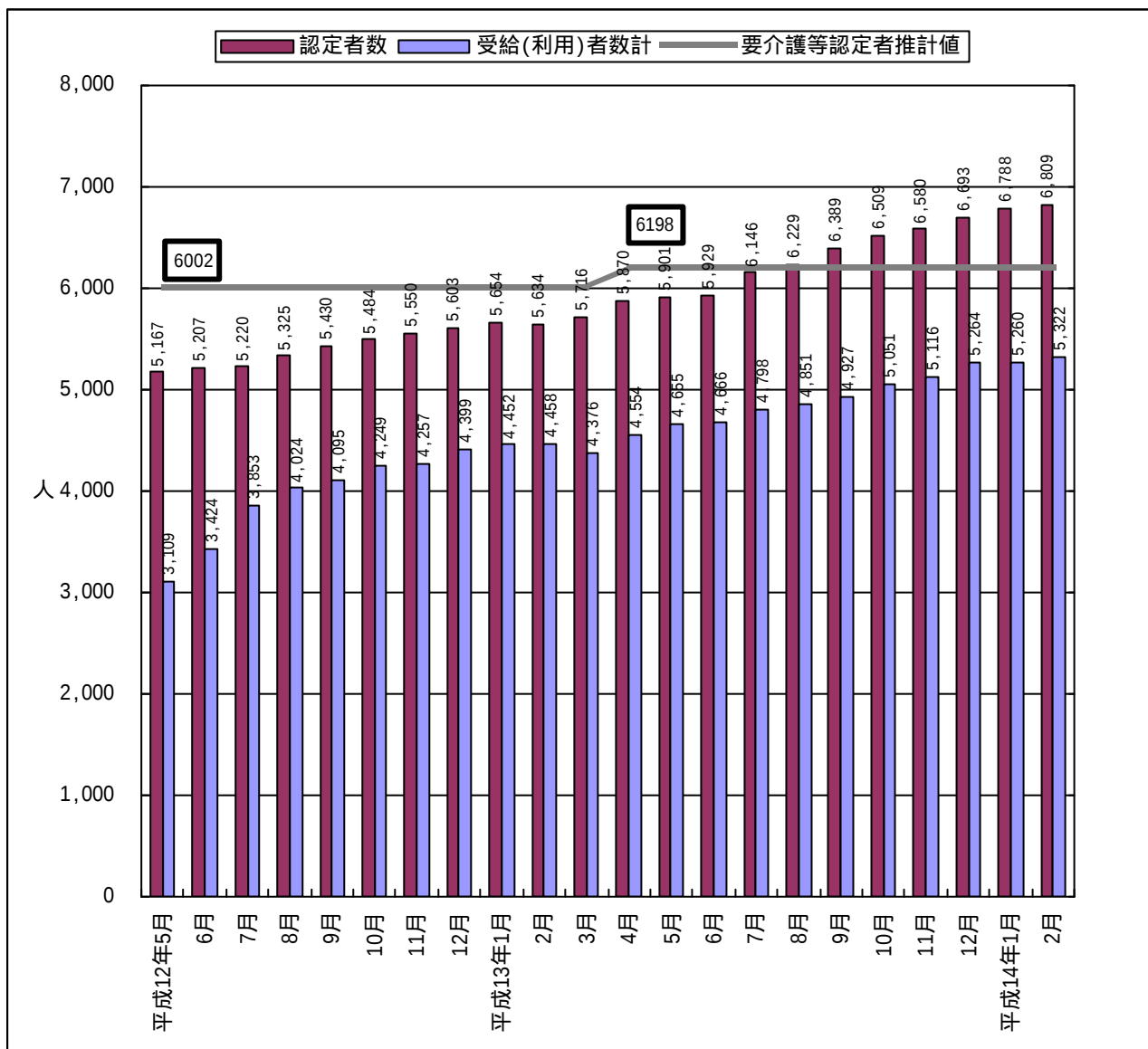


保険料の収入状況

< メ モ >

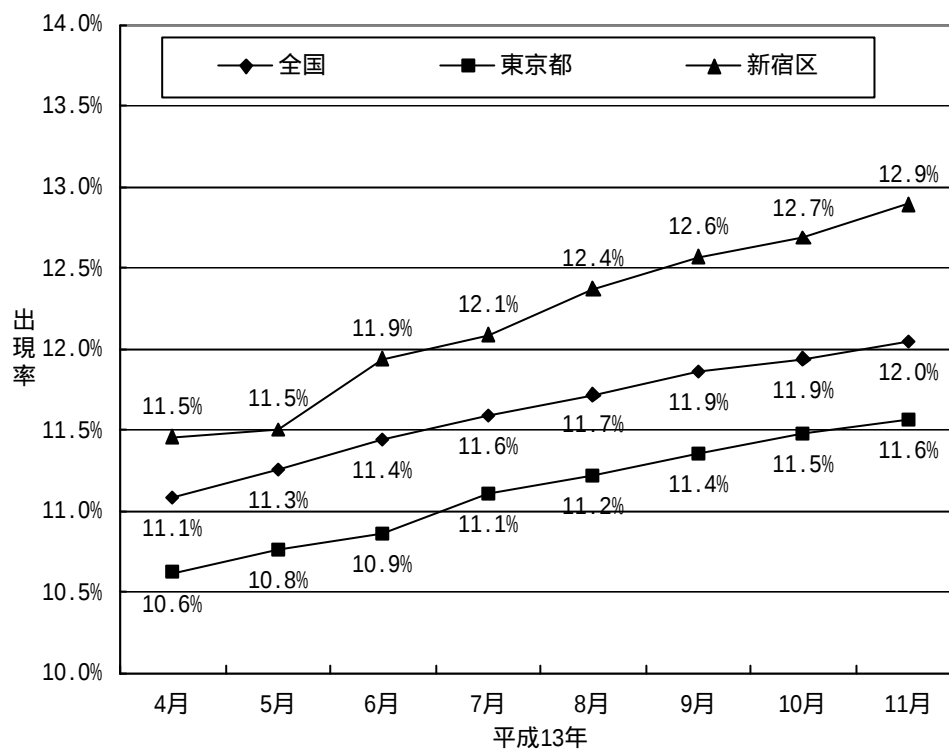
要介護者等の状況

1 要介護等認定者数と介護サービス受給者数



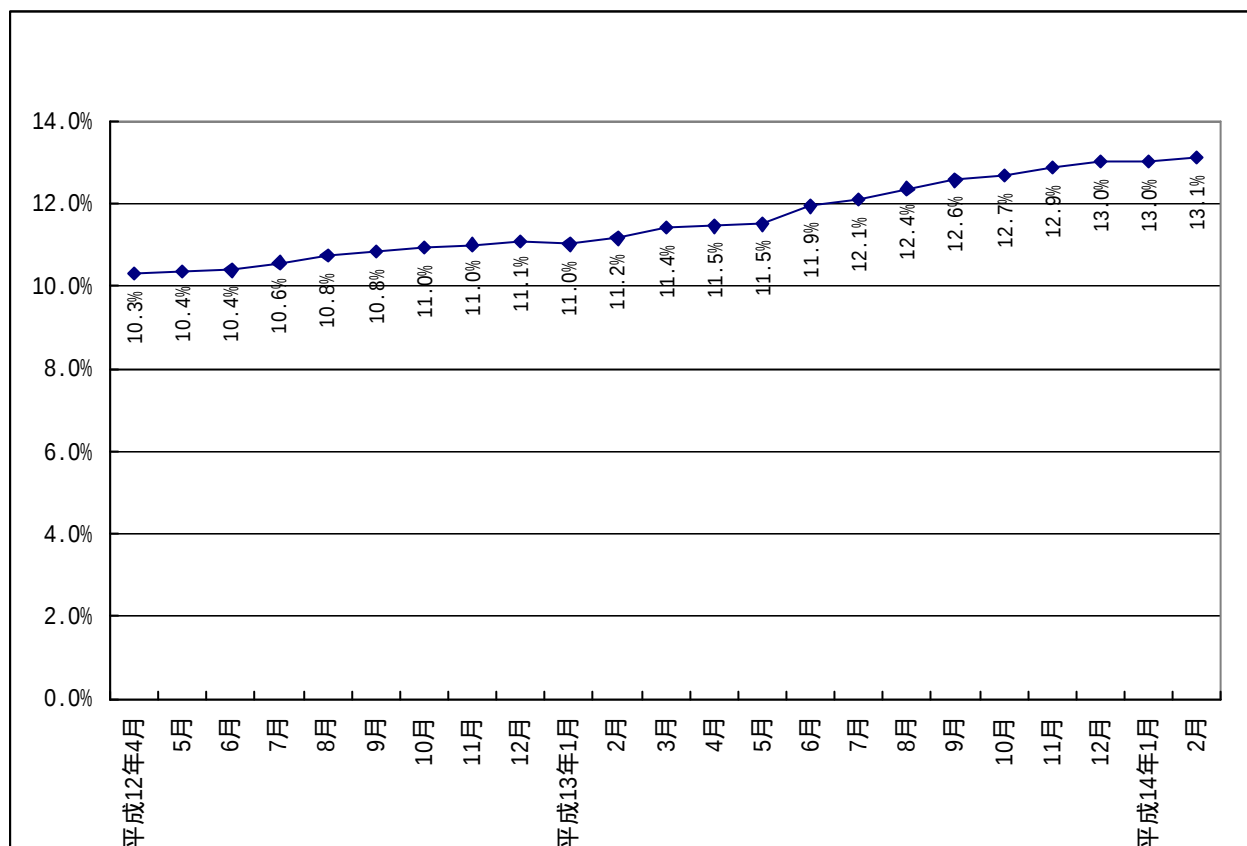
- ・ 各月の要介護等認定者と受給者数の推移を示している。参考のため、新宿区老人保健福祉計画・介護保険事業計画に掲げた要介護等認定者の推計値を重ねてある。
- ・ 各月の認定者数は、前月の月末現在の数値である。
- ・ 要介護等認定者数には、制度開始前から施設所中の要介護等非該当者（旧措置入所者）も含まれる。

2 要介護等認定者出現率の比較（国、都比較）



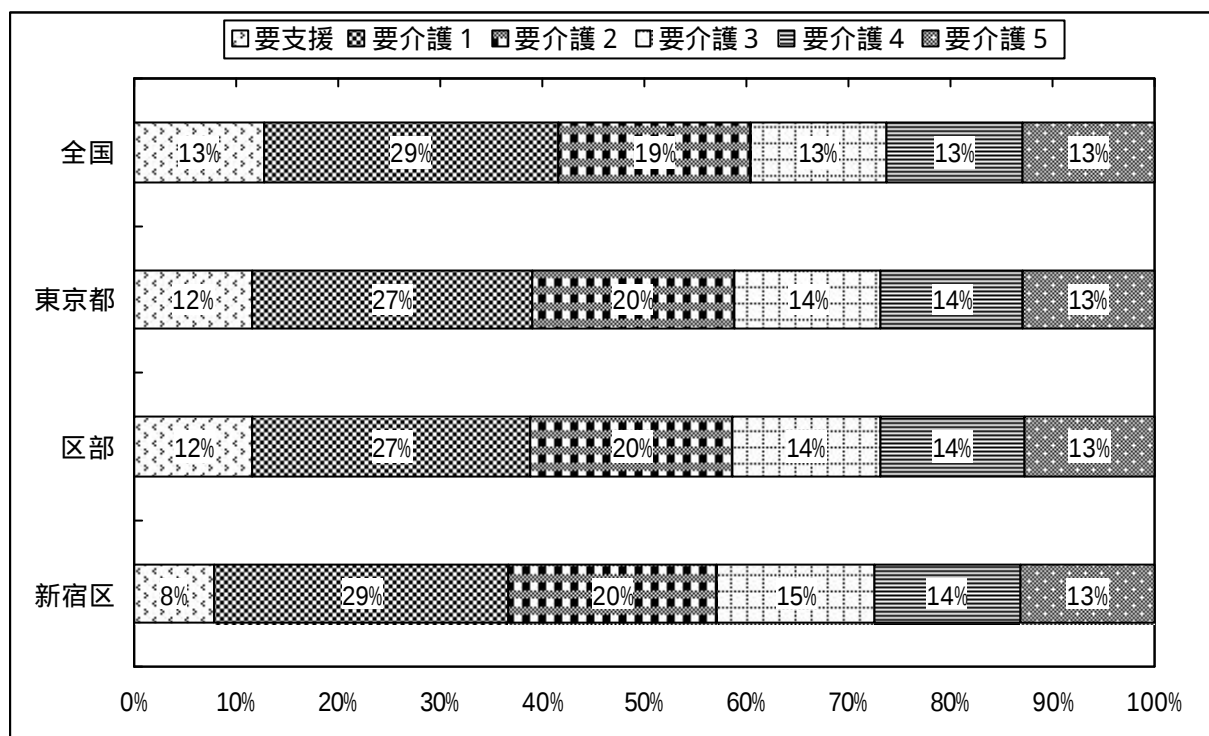
- ・過去1年間の、第1号被保険者数における要介護等認定者の出現率の推移を国、都と比較した。
- ・各月の認定者数は、前月の月末現在の数値である。

3 新宿区における要介護等認定者の出現率



- ・新宿区の第1号被保険者数における要介護等認定者の出現率の推移を、事業開始時から示している。前ページグラフとの比較のため、高齢者人口は、便宜的に第1号被保険者数を用いた。
- ・各月の認定者数は、前月の月末現在の数値である。

4 要介護等認定者の要介護度別内訳（国、都、区部比較）

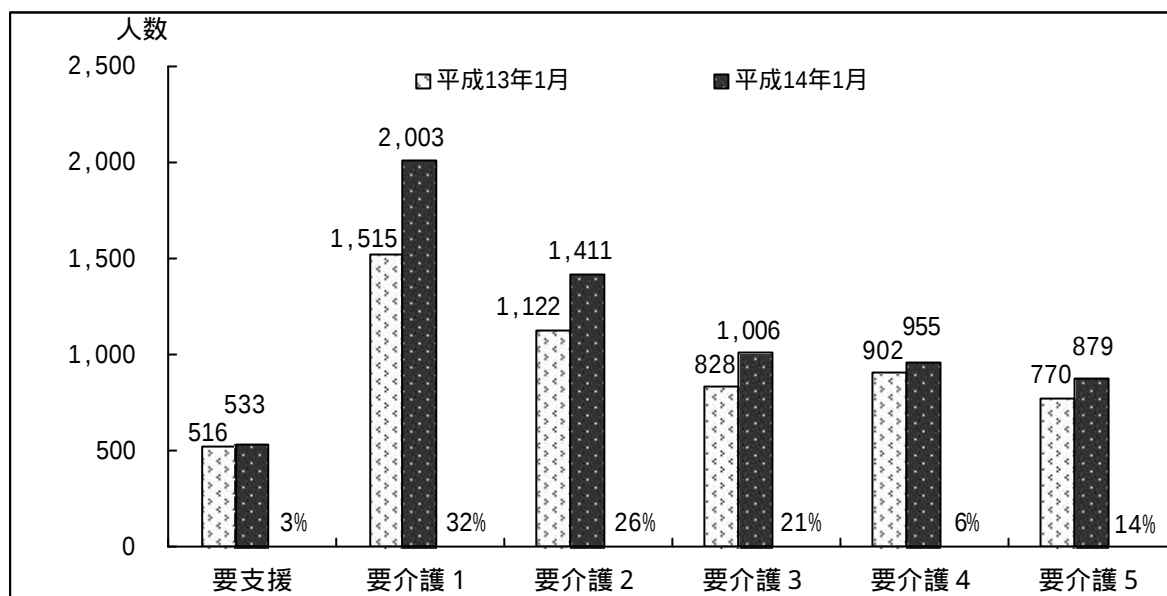


区分		要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
全国	人数	363,000	823,000	540,000	377,000	381,000	371,000	2,855,000
	構成比	13%	29%	19%	13%	13%	13%	
東京都	人数	27,595	65,571	47,521	34,127	33,417	30,761	238,992
	構成比	12%	27%	20%	14%	14%	13%	
区部	人数	19,651	45,881	33,275	24,325	23,954	21,426	168,512
	構成比	12%	27%	20%	14%	14%	13%	
新宿区	人数	525	1,931	1,368	1,030	962	877	6,693
	構成比	8%	29%	20%	15%	14%	13%	

端数処理のため、構成比計は 100% とならない。

・平成 13 年 11 月末現在における要介護者等の要介護度別内訳を比較したものである。

5 要介護度別にみた要介護等認定者数の年度対比



単位：人

区分	平成 13 年 1 月	平成 14 年 1 月	増加率
要支援	516	533	3%
要介護 1	1,515	2,003	32%
要介護 2	1,122	1,411	26%
要介護 3	828	1,006	21%
要介護 4	902	955	6%
要介護 5	770	879	14%

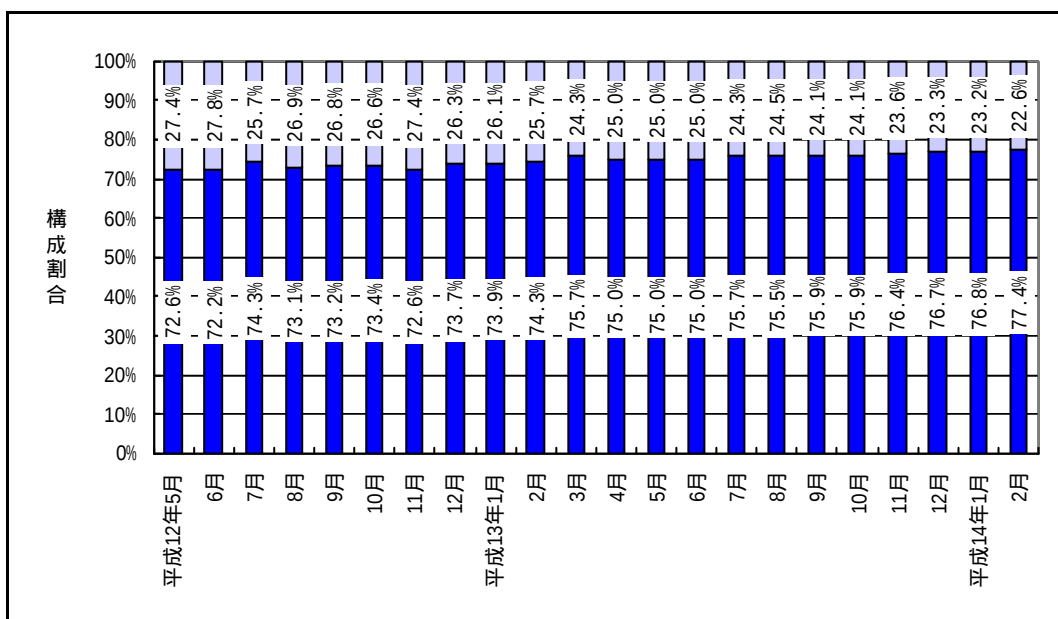
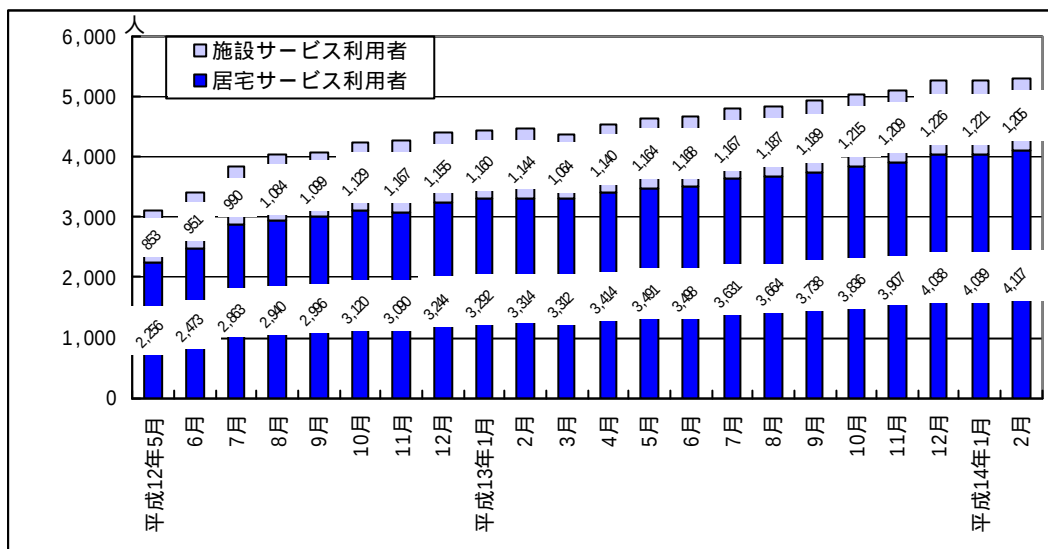
- ・平成 12 年 12 月末と 13 年 12 月末における、要介護度別の認定者数の実数の対比を示している。

介護保険サービスの利用状況

1 居宅サービスと施設サービス

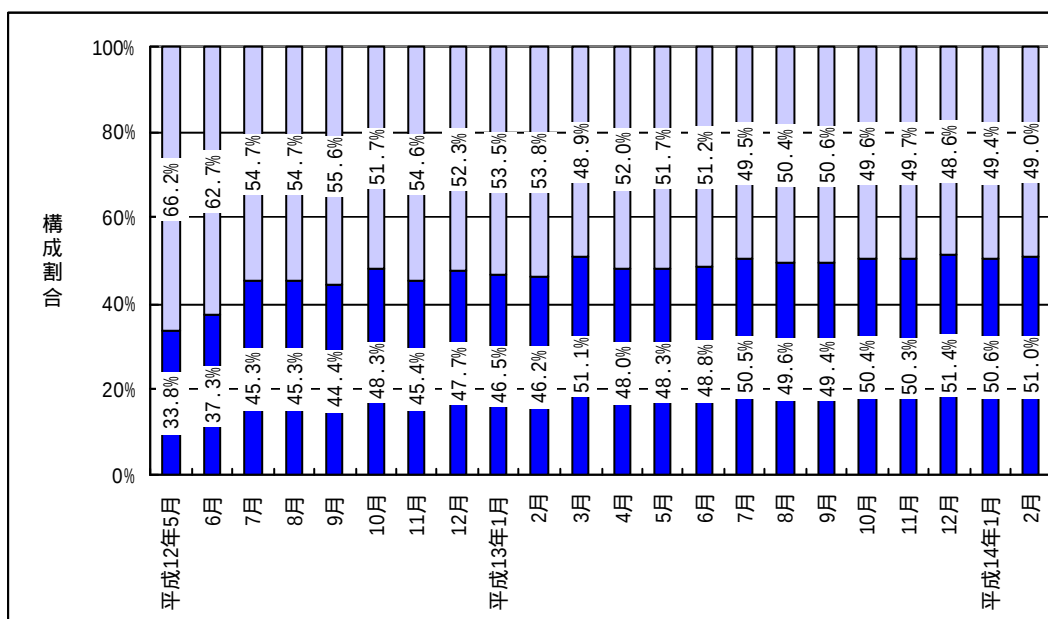
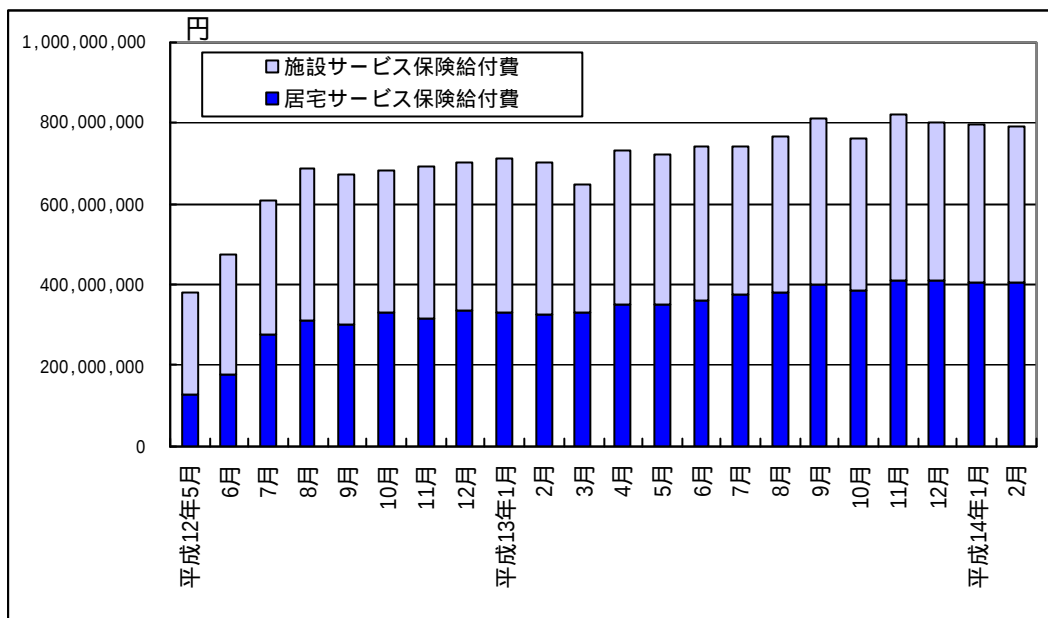
介護保険サービスの利用状況
1 施設サービスと居宅サービス

(1) サービス利用者数の比較



- ・施設サービスと居宅サービスの利用者数の推移を示したグラフである。上段は、実人数を、下段は構成割合を百分比で示している。
- ・統計データの加工上、居宅サービスの利用者数には償還分（住宅改修、特定福祉用具購入等）利用者数が含まれている。

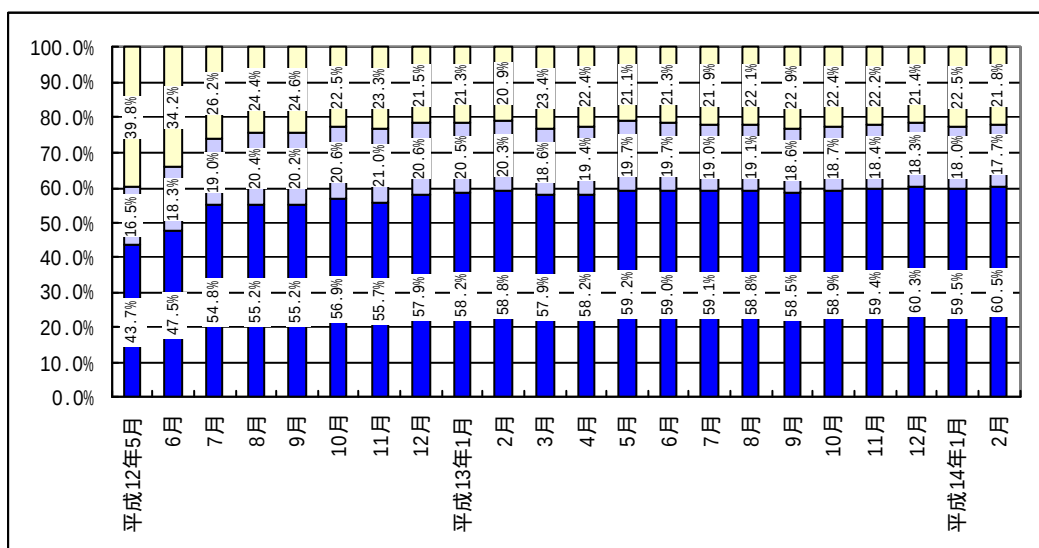
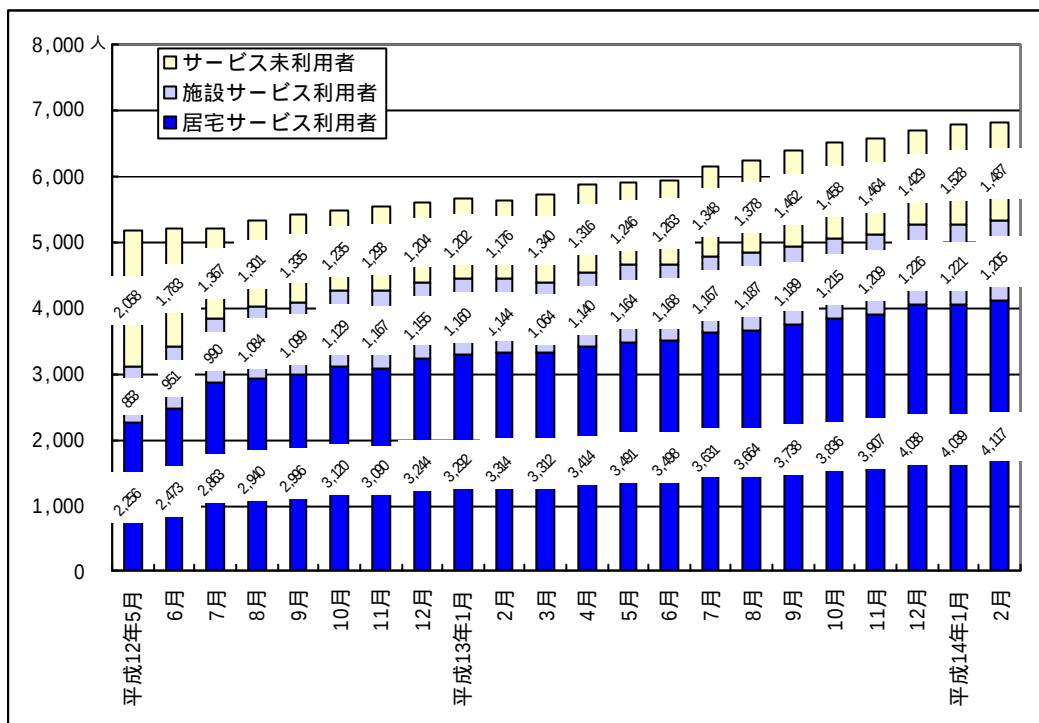
(2) 保険給付金額の比較



- ・介護保険サービスの保険支給金額の推移を示したグラフである。上段は、給付実績金額を、下段は構成割合を百分比で示している。

介護保険サービスの利用状況
1 施設サービスと居宅サービス

(3) サービス未利用者の状況



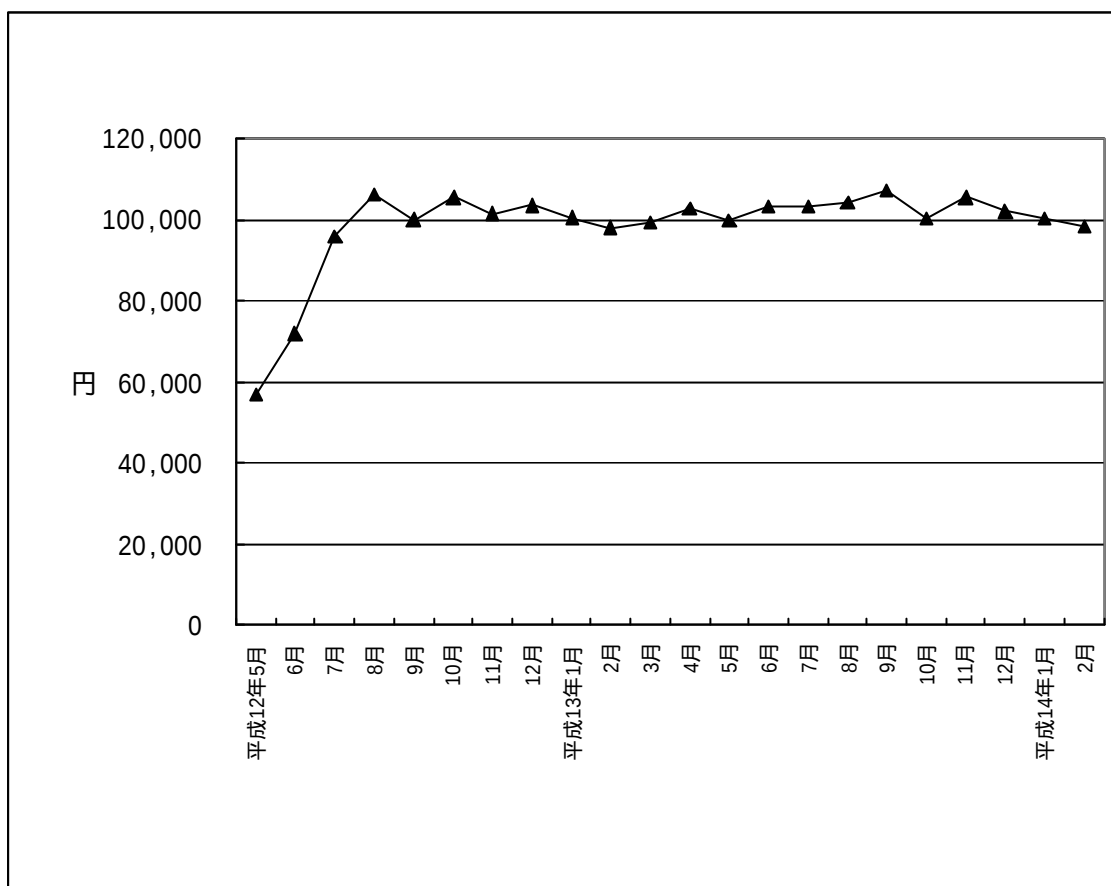
- ・居宅サービス利用者及び施設サービス利用者、に、要介護認定を受けていながらサービスを利用していない方の人数を加えて推移を示したグラフである。上段は、実人数を、下段は構成割合を百分比で示している。

介護保険サービスの利用状況

2 居宅サービスの利用状況

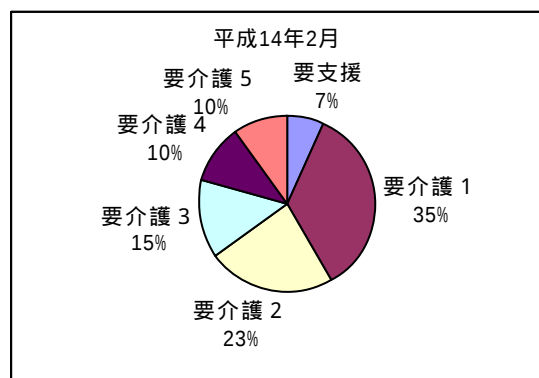
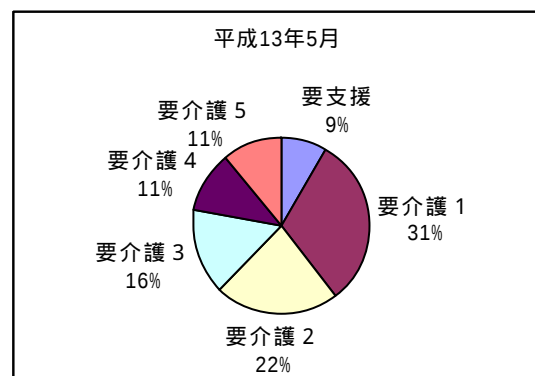
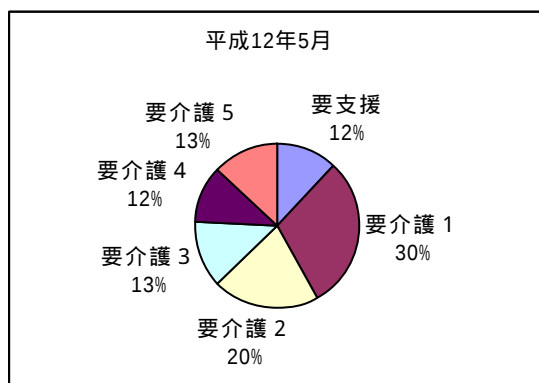
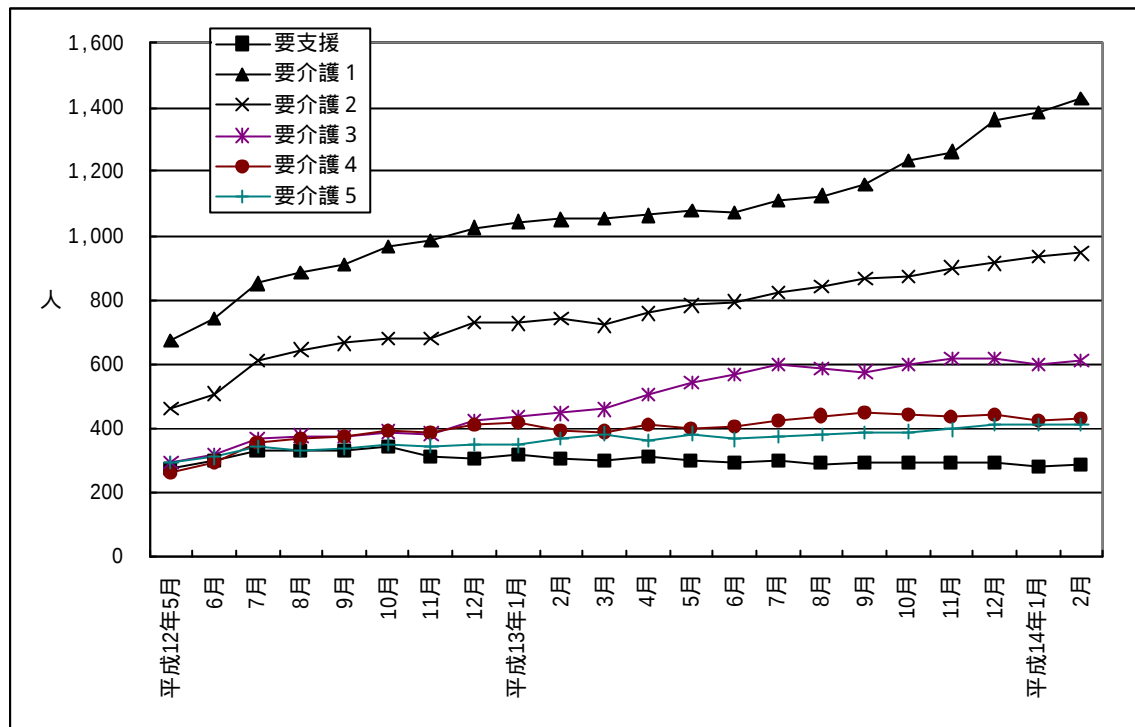
介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

(1) 居宅サービス利用者一人当たりの保険給付金額



- ・ 居宅サービス利用者一人につき支給した保険給付額の推移を示している。
- ・ 各月ごとに、居宅サービスに係る保険給付金額を当該月の居宅サービス利用者数で除したものである。

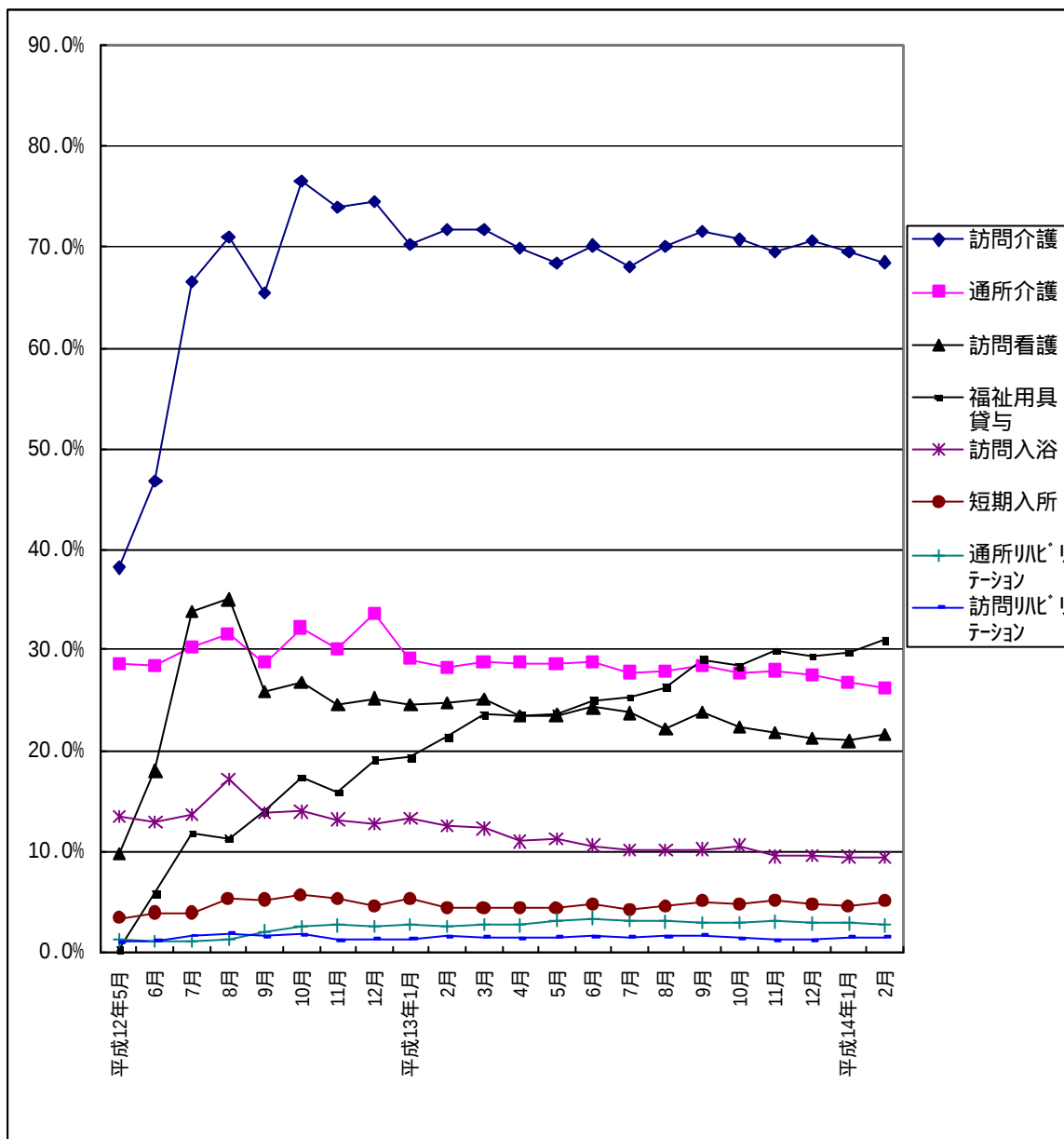
(2) 居宅サービス利用者の要介護度等別内訳



・居宅サービス利用者の、要介護度等別の内訳の推移を示している。

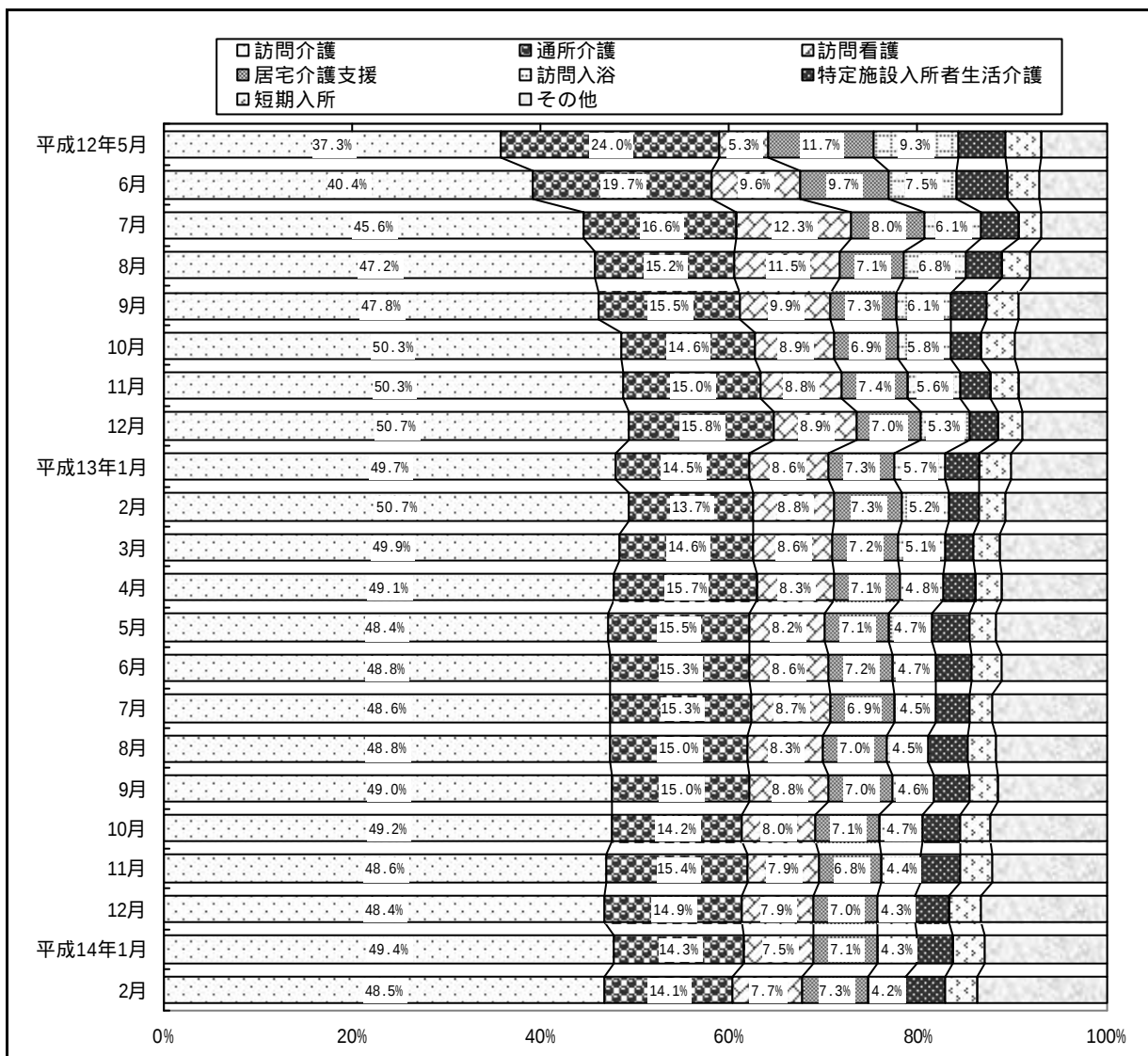
介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

(3) 居宅サービス種類別の利用割合



- ・居宅サービス利用者のうち、当該サービスを利用している方の割合を示している。例えば、この表から、訪問介護サービスは居宅サービス利用者の約 7 割の方が利用していることが分かる。
- ・一人の利用者が複数のサービスを利用しているため、各月の合計は 100%を超える。

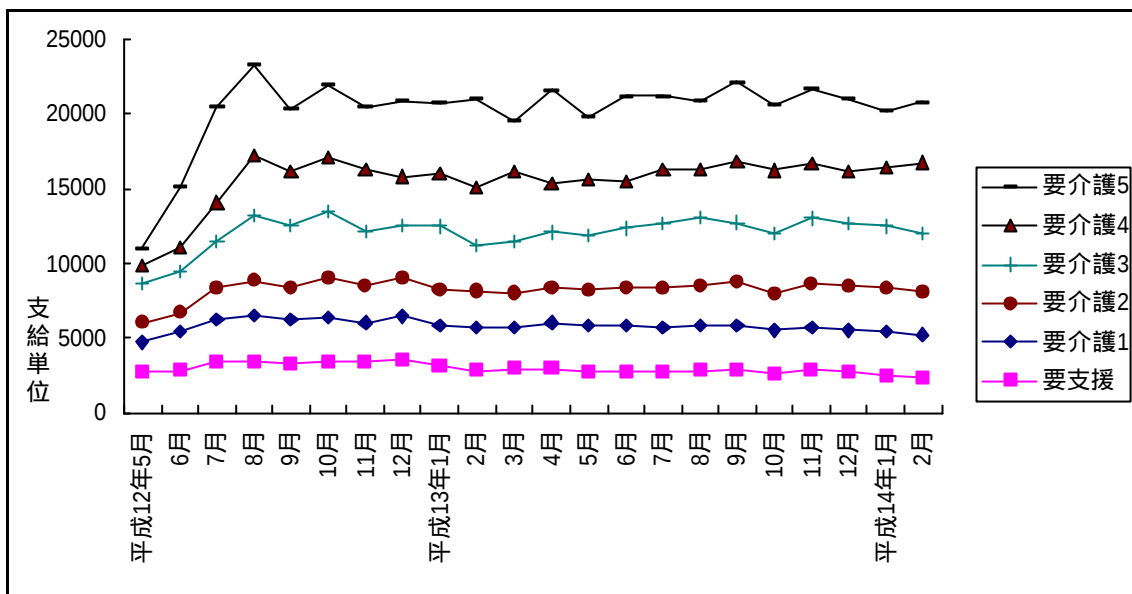
(4) 居宅サービス種類別給付金額の構成比



・居宅サービスに係る保険給付金額におけるサービス種類別の割合を示している。

介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

(5) 居宅サービス利用者一人当たりの給付金額



- ・居宅サービス利用者一人当たりの保険給付額（給付単位）の推移を示している。
- ・区分支給限度額の管理対象サービスに限った給付金額である。住宅改修及び特定福祉用具購入費は、区分支給限度額の管理対象サービスとならないため除いた。
- ・単位は「給付単位（1単位約10円、地域とサービスによって異なる）」である。

< メ モ >

介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

(6) 区分支給限度額に対する利用割合

平成 12 年 5 月審査分

	人数	給付単位数	平均給付単位数	支給限度基準額	対支給限度額
		合計 (単位)	(単位)	(単位)	比率 (%)
要支援	181	499,707	2,760.8	6,150	44.9%
要介護 1	473	2,216,750	4,686.6	16,580	28.3%
要介護 2	334	2,015,061	6,033.1	19,480	31.0%
要介護 3	212	1,837,870	8,669.2	26,750	32.4%
要介護 4	192	1,895,566	9,872.7	30,600	32.3%
要介護 5	220	2,425,740	11,026.1	35,830	30.8%
平均 (加重)	1,612				31.2%

平成 12 年 11 月審査分

	人数	給付単位数	平均給付単位数	支給限度基準額	対支給限度額
		合計 (単位)	(単位)	(単位)	比率 (%)
要支援	285	985,654	3,458.4	6,150	56.2%
要介護 1	910	5,502,577	6,046.8	16,580	36.5%
要介護 2	631	5,401,990	8,561.0	19,480	43.9%
要介護 3	349	4,239,284	12,146.9	26,750	45.4%
要介護 4	345	5,622,639	16,297.5	30,600	53.3%
要介護 5	312	6,399,208	20,510.3	35,830	57.2%
平均 (加重)	2,832				46.8%

平成 13 年 5 月審査分

	人数	給付単位数	平均給付単位数	支給限度基準額	対支給限度額
		合計 (単位)	(単位)	(単位)	比率 (%)
要支援	281	781,526	2,781.2	6,150	45.2%
要介護 1	997	5,837,313	5,854.9	16,580	35.3%
要介護 2	717	5,881,771	8,203.3	19,480	42.1%
要介護 3	477	5,667,908	11,882.4	26,750	44.4%
要介護 4	361	5,640,602	15,624.9	30,600	51.1%
要介護 5	347	6,874,750	19,812.0	35,830	55.3%
平均 (加重)	3,180				44.8%

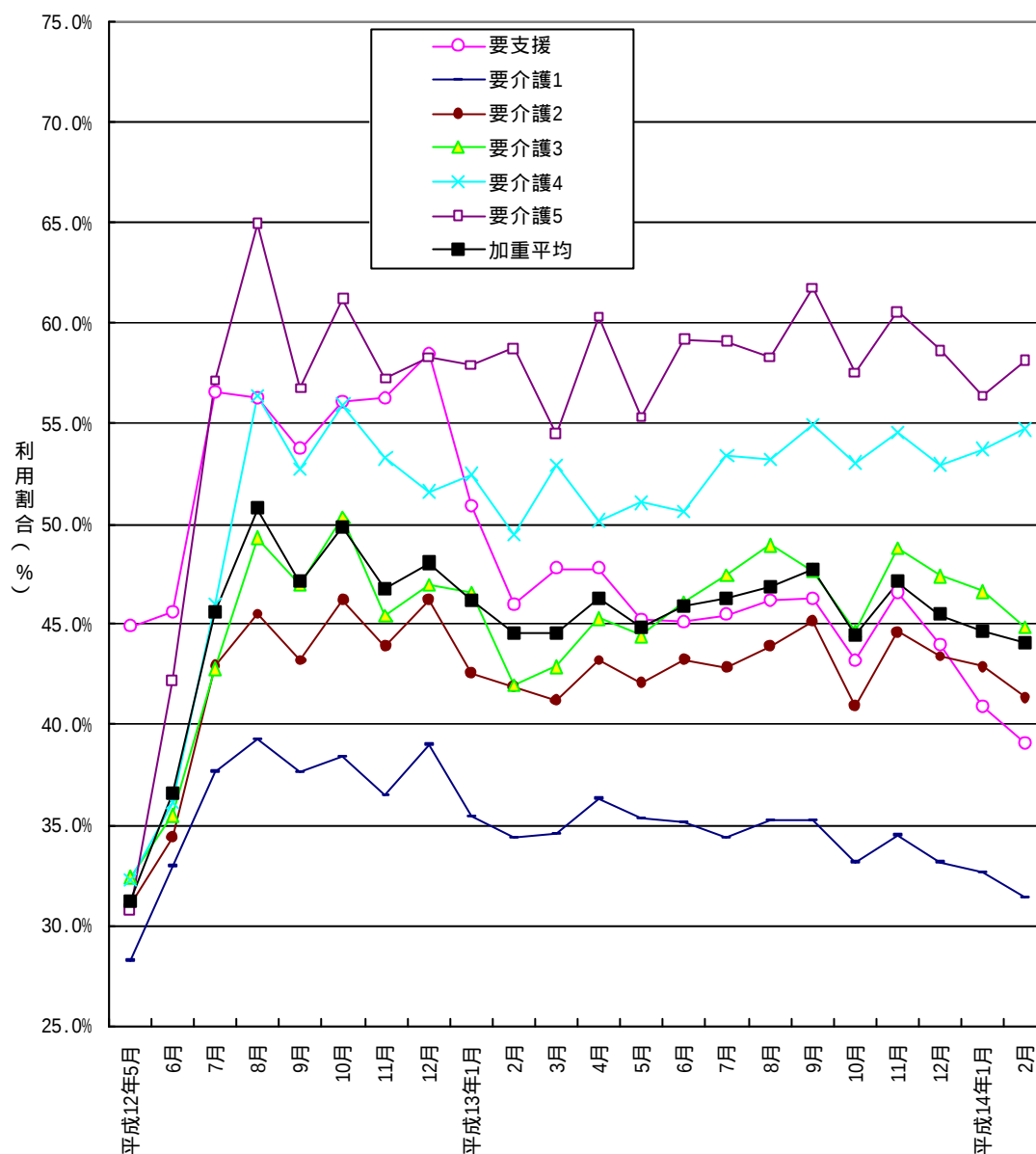
平成 13 年 11 月審査分

	人数	給付単位数	平均給付単位数	支給限度基準額	対支給限度額
		合計 (単位)	(単位)	(単位)	比率 (%)
要支援	274	785,187	2,865.6	6,150	46.6%
要介護 1	1,197	6,851,363	5,723.8	16,580	34.5%
要介護 2	833	7,236,860	8,687.7	19,480	44.6%
要介護 3	557	7,269,974	13,052.0	26,750	48.8%
要介護 4	391	6,525,814	16,690.1	30,600	54.5%
要介護 5	365	7,920,644	21,700.4	35,830	60.6%
平均 (加重)	3,617				47.1%

平成 14 年 2 月審査分

	人数	給付単位数	平均給付単位数	支給限度基準額	対支給限度額
		合計 (単位)	(単位)	(単位)	比率 (%)
要支援	266	639,348	2,403.6	6,150	39.1%
要介護 1	1,301	6,767,064	5,201.4	16,580	31.4%
要介護 2	859	6,920,084	8,056.0	19,480	41.4%
要介護 3	558	6,693,502	11,995.5	26,750	44.8%
要介護 4	385	6,447,321	16,746.3	30,600	54.7%
要介護 5	380	7,913,364	20,824.6	35,830	58.1%
平均 (加重)	3,749				44.1%

<区分支給限度額に対する利用割合の推移>



- ・各月の人数は、区分支給限度額管理対象サービスの受給者数である。このため、居宅サービス利用者の総数とは一致しない。
- ・この表・グラフから、例えば平成12年5月の場合、要支援の方の支給限度額は6,150単位であるところ平均の給付実績額は2,760.8単位で、支給限度額に対して44.9%の利用であったことが分かる。

介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

(7) 居宅サービスの利用特性 (参酌標準と利用実績の比較)

<国の参酌標準>

	要支援		要介護 1		要介護 2		要介護 3				要介護 4				要介護 5		
	通所型	訪問型	通所型	訪問型	通所型	訪問型	通所型	訪問型	痴呆型	医療型	通所型	訪問型	痴呆型	医療型	通所型	訪問型	医療型
訪問介護(回 / 1週)		2	3	5	3	5	5.5	7.5	1	6.5	9.5	8.5	1	8.5	12	13	9
訪問入浴 (回 / 1週)												0.5					0.5
訪問看護 (回 / 1週)		0.25	1	1	1	1	1	1	0.5	3	2	2	0.5	3	2	2	3
訪問リハビリ (回 / 1週)										1		1		1		1	1
通所介護又は通所リハビリ (回 / 1週)	2	1	2	1	3	2	3	2	4		1		5		1		
短期入所生活介護又は短期入所療養介護 (週 / 6月)	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6

注 現行の告示の参酌標準から引用した。

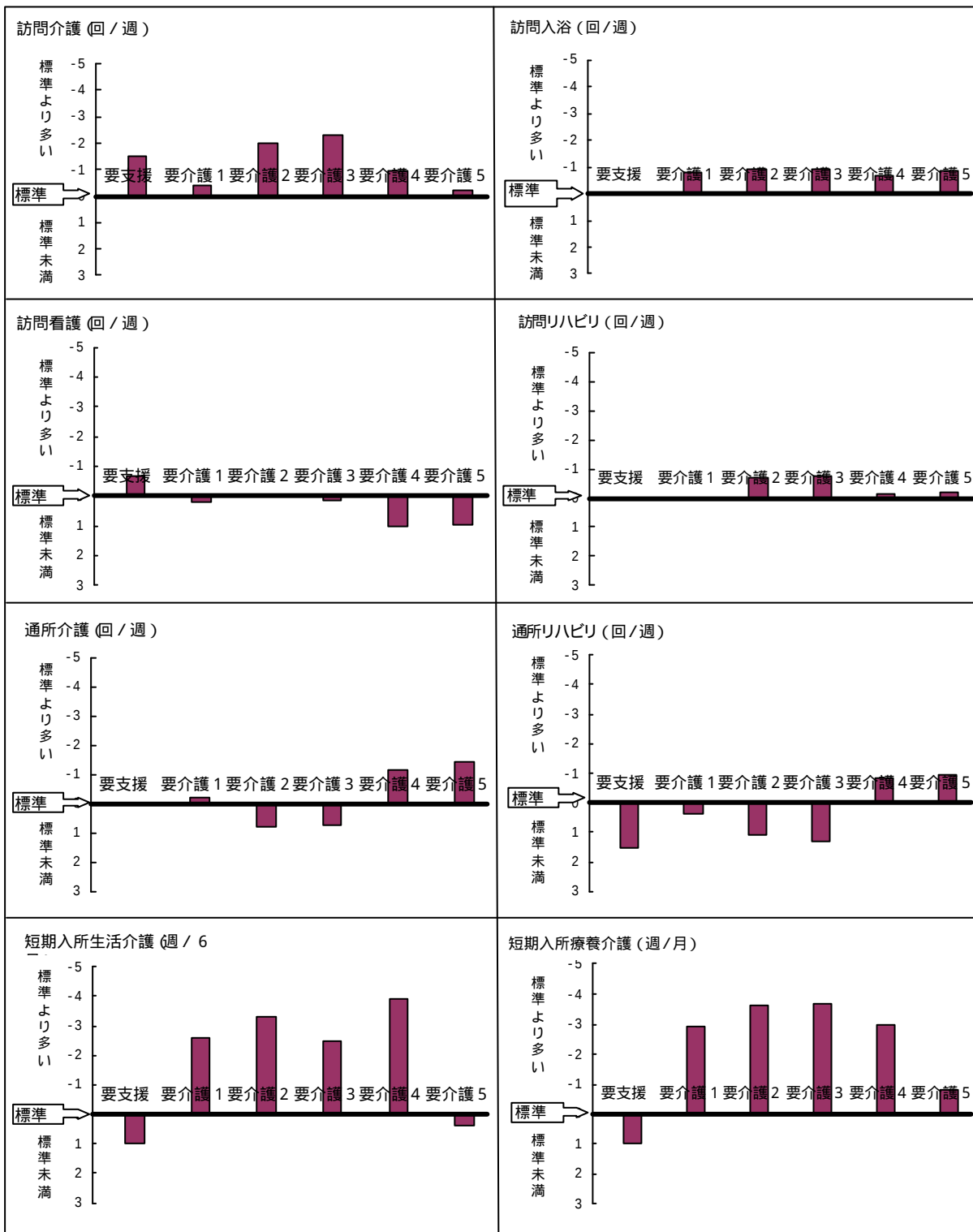
<新宿区利用状況 (平成13年11月分)>

	要支援		要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5	
	実績一人当たり平均	参酌標準との差	実績一人当たり平均	参酌標準との差	実績一人当たり平均	参酌標準との差	実績一人当たり平均	参酌標準との差	実績一人当たり平均	参酌標準との差	実績一人当たり平均	参酌標準との差
訪問介護(回 / 1週)	2.5	-1.5	4.4	-0.4	6	-2	7.6	-2.3	9.4	-1	11.8	-0.2
訪問入浴 (回 / 1週)	0	0	0.8	-0.8	0.9	-0.9	0.9	-0.9	0.9	-0.7	1	-0.9
訪問看護 (回 / 1週)	0.8	-0.7	0.8	0.2	1	0	1	0.14	1.1	1.02	1.3	0.95
訪問リハビリ (回 / 1週)	0	0.0	0	0	0.7	-0.7	0.9	-0.8	0.7	-0.1	0.8	-0.2
通所介護 (回 / 1週)	1.5	0	1.7	-0.2	1.7	0.8	1.8	0.71	1.8	-1.2	1.8	-1.4
通所リハビリ (回 / 1週)	0	1.5	1.1	0.4	1.4	1.1	1.2	1.31	1.5	-0.9	1.3	-0.9
短期入所生活介護 (週 / 6月)	0	1	4.6	-2.6	5.3	-3.3	5.5	-2.5	6.9	-3.9	5.6	0.4
短期入所療養介護 (週 / 6月)	0	1	4.9	-2.9	5.6	-3.6	6.7	-3.7	6	-3	6.8	-0.8

参酌標準 (各利用型を平均したもの) から実績を引いた値

注 実績の一人当たり平均は、各サービス量の月計をサービス毎の受給者数で割った数を週換算したものである

<サービス種類別一人当たり平均の参酌標準との差>



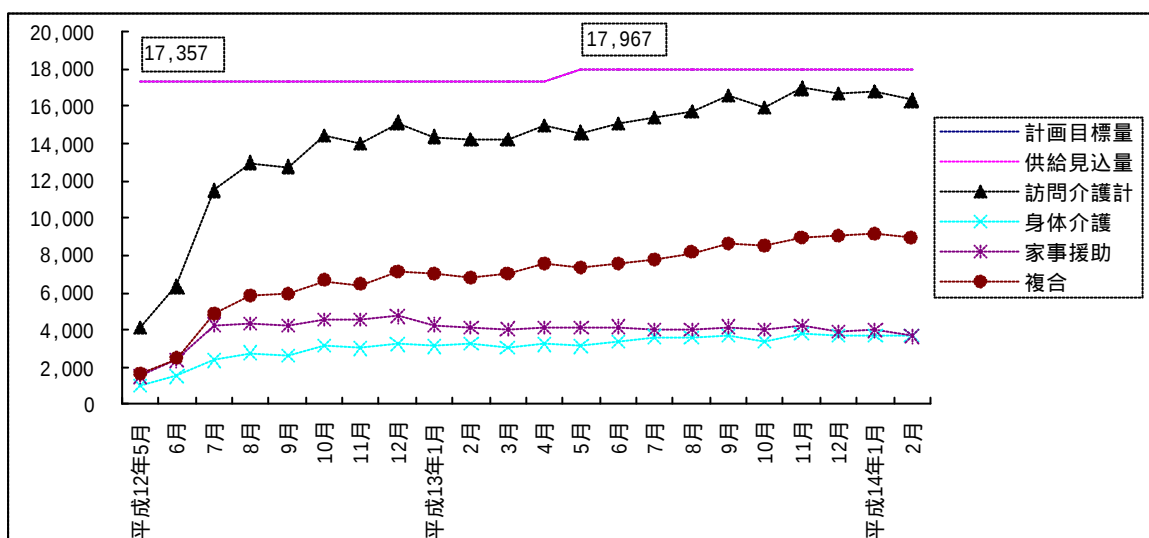
介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

(8) 居宅サービスの計画目標量、供給見込量と利用実績

以下のグラフでは新宿区老人保健福祉計画・介護保険事業計画に掲げた、居宅サービス種類ごとの計画目標量、供給見込量と利用実績の比較を示している。

訪問介護

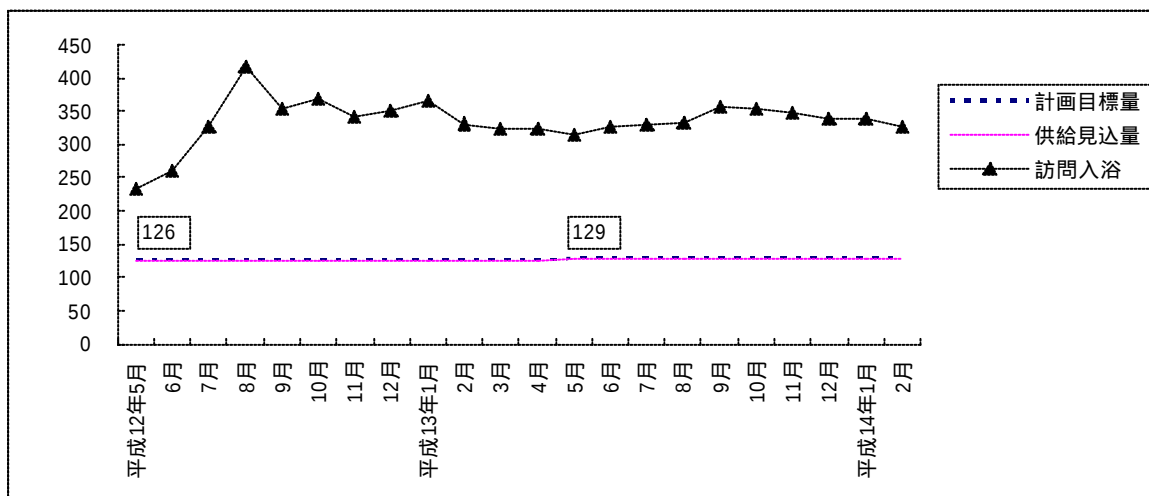
(単位：時間/週)



・供給見込量は計画目標量と同量である (グラフ線が重なっている)。

訪問入浴介護

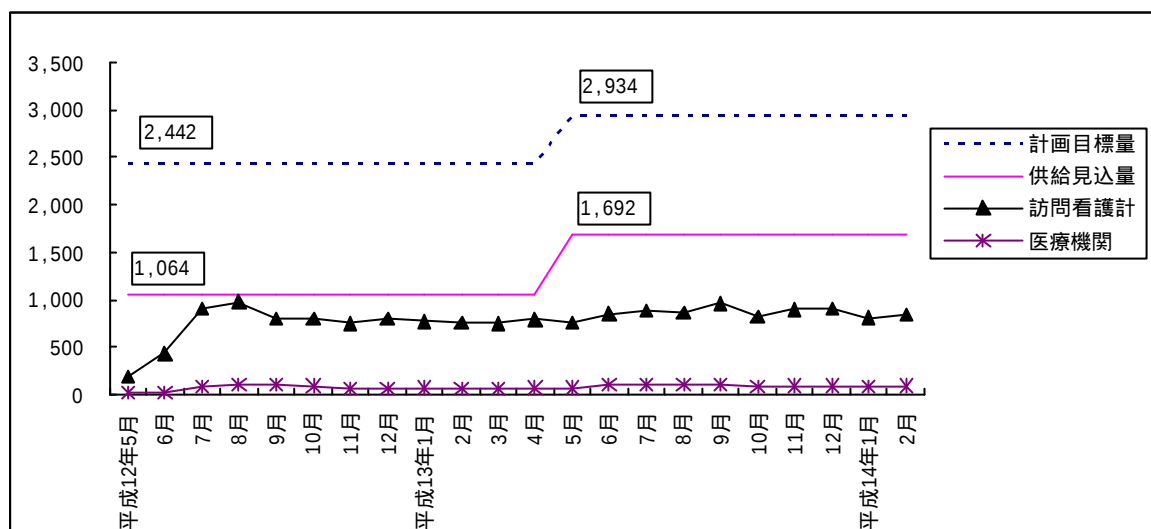
(単位：回/週)



・供給見込量は計画目標量と同量である (グラフ線が重なっている)。

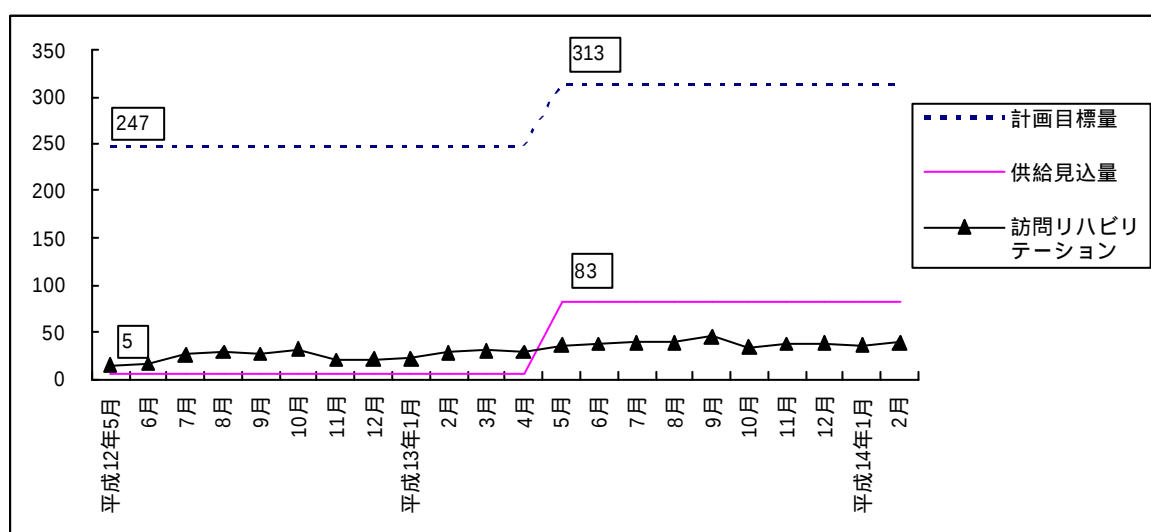
訪問看護

(単位：回/週)



訪問リハビリテーション

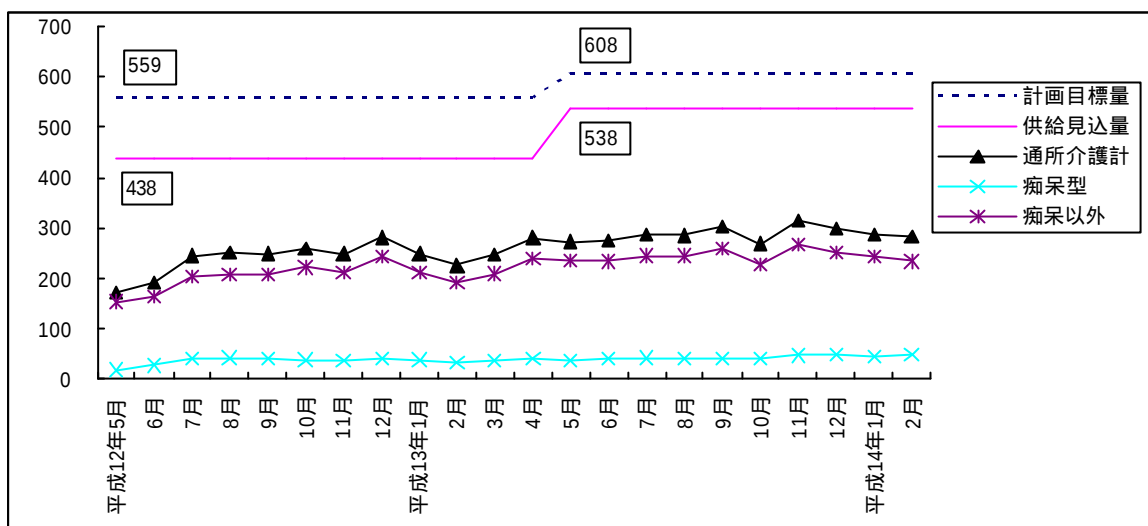
(単位：回/週)



介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

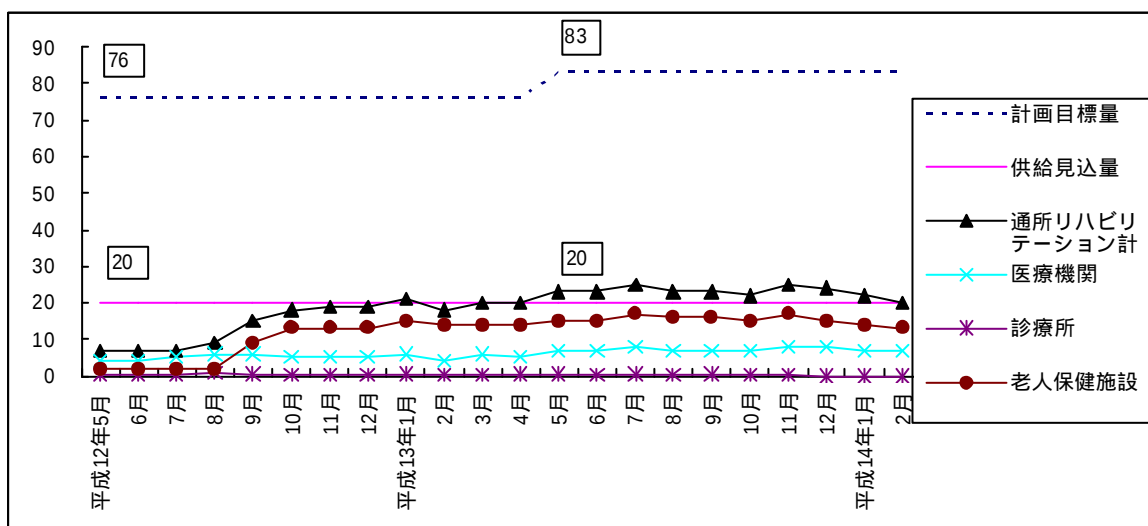
通所介護

(単位：人/日)



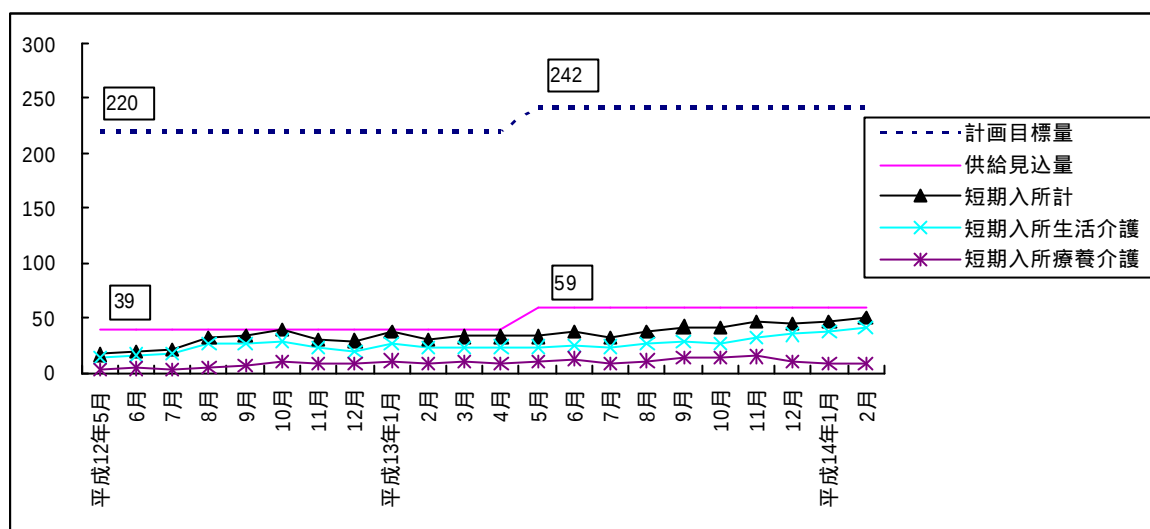
通所リハビリテーション

(単位：人/日)



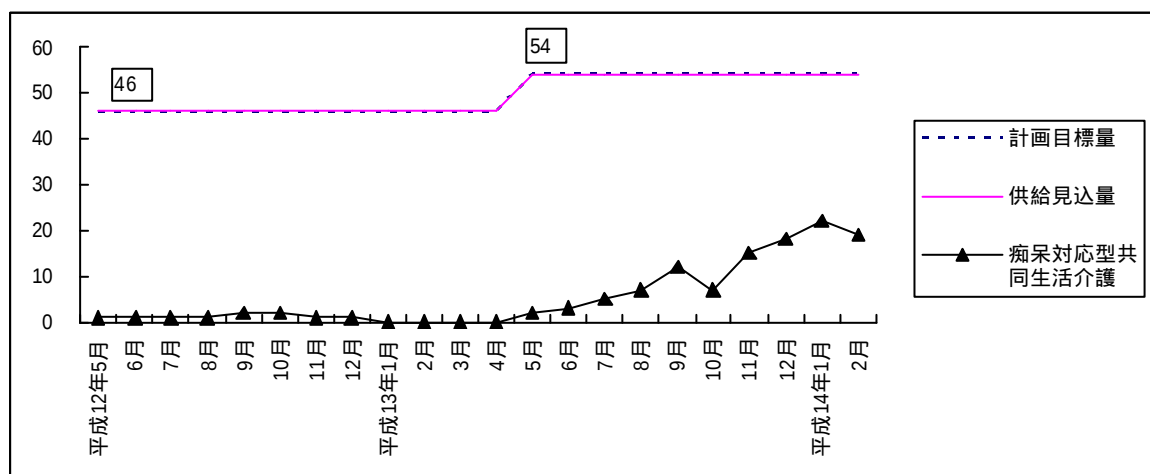
短期入所

(単位：床/日)



痴呆対応型共同生活介護

(単位：人/日)



- ・供給見込量は計画目標量と同量である（グラフ線が重なっている）。

介護保険サービスの利用状況
2 居宅サービスの利用状況

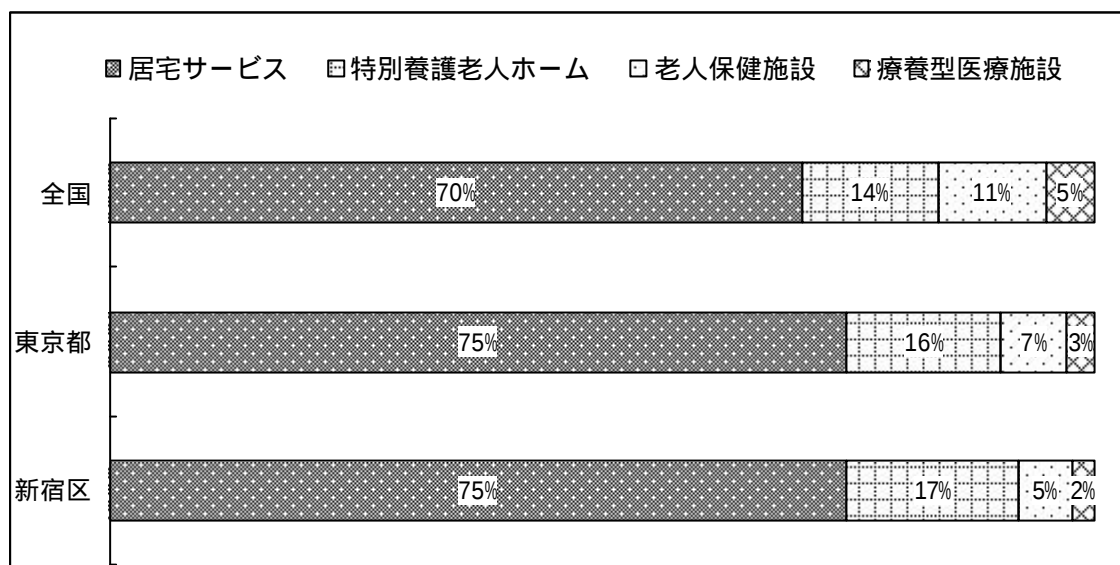
< メ モ >

介護保険サービスの利用状況

3 施設サービスの利用状況

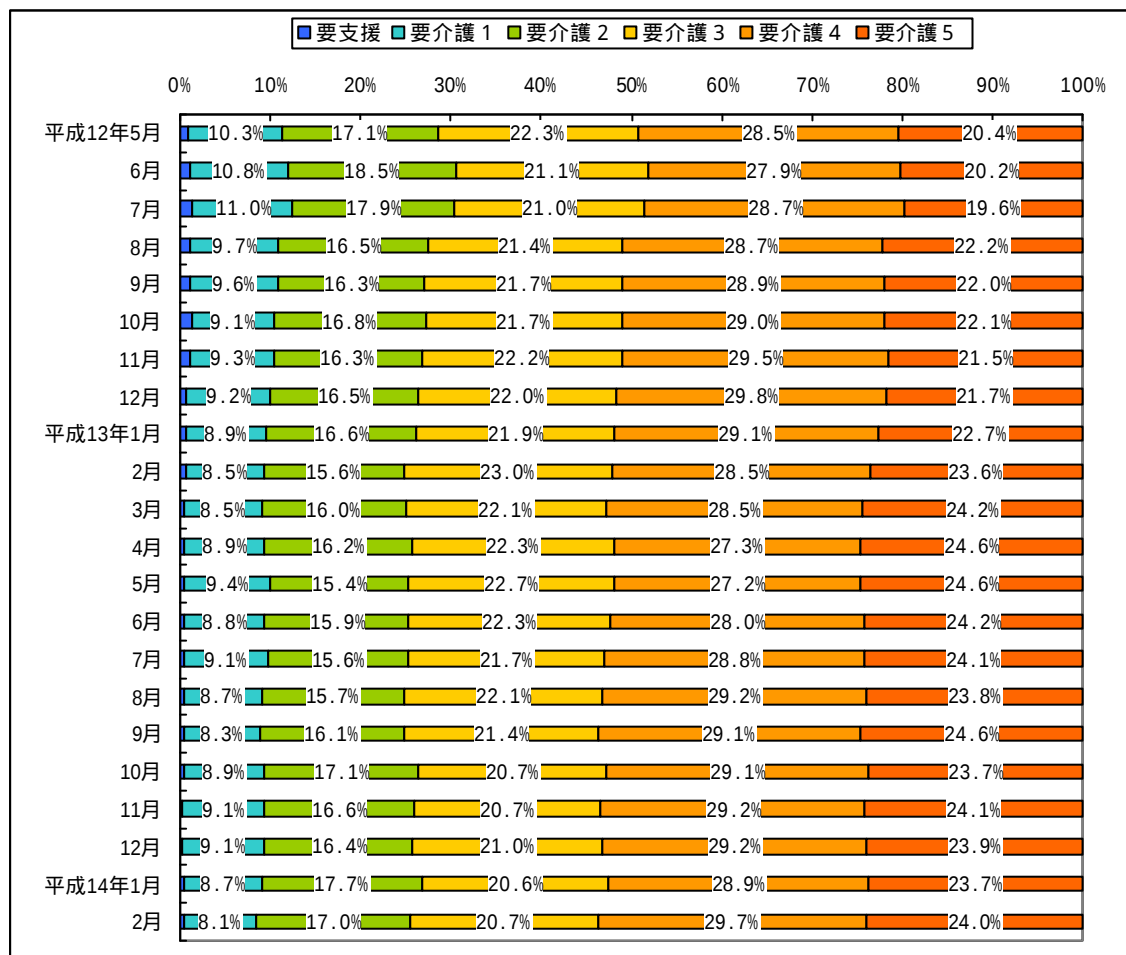
介護保険サービスの利用状況
3 施設サービスの利用状況

(1) 施設サービス利用者の施設種類別割合



- ・全介護保険サービスを、居宅サービスと 3 種の施設サービスに区分して、利用者数の比較をしている。比較は、平成 13 年 9 月利用分である。

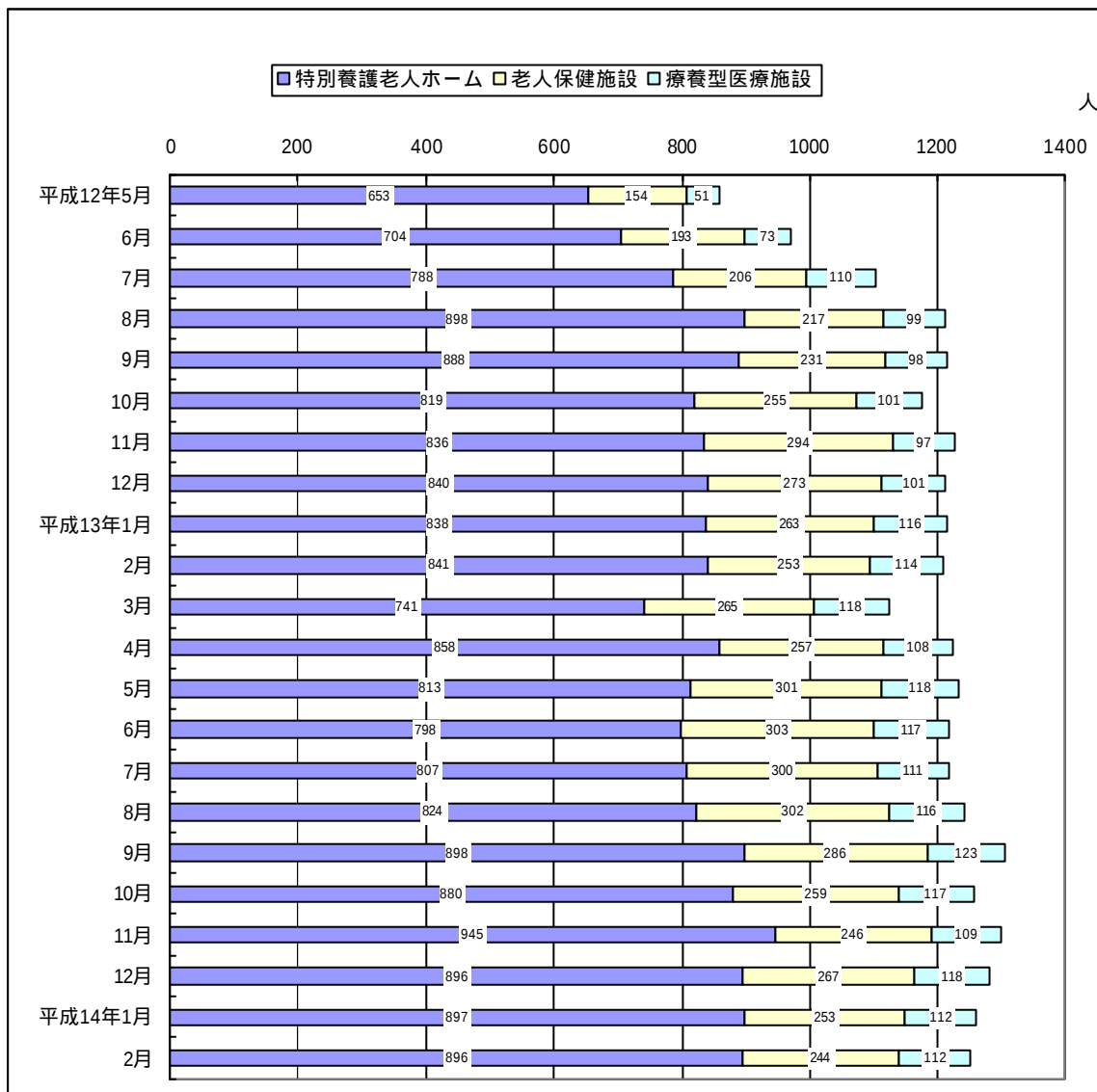
(2) 施設サービス利用者の要介護度等別内訳



- ・施設サービス利用者の要介護度内訳を示している。
- ・グラフには現われないが、ごく少数の要介護認定の非該当者が含まれている。

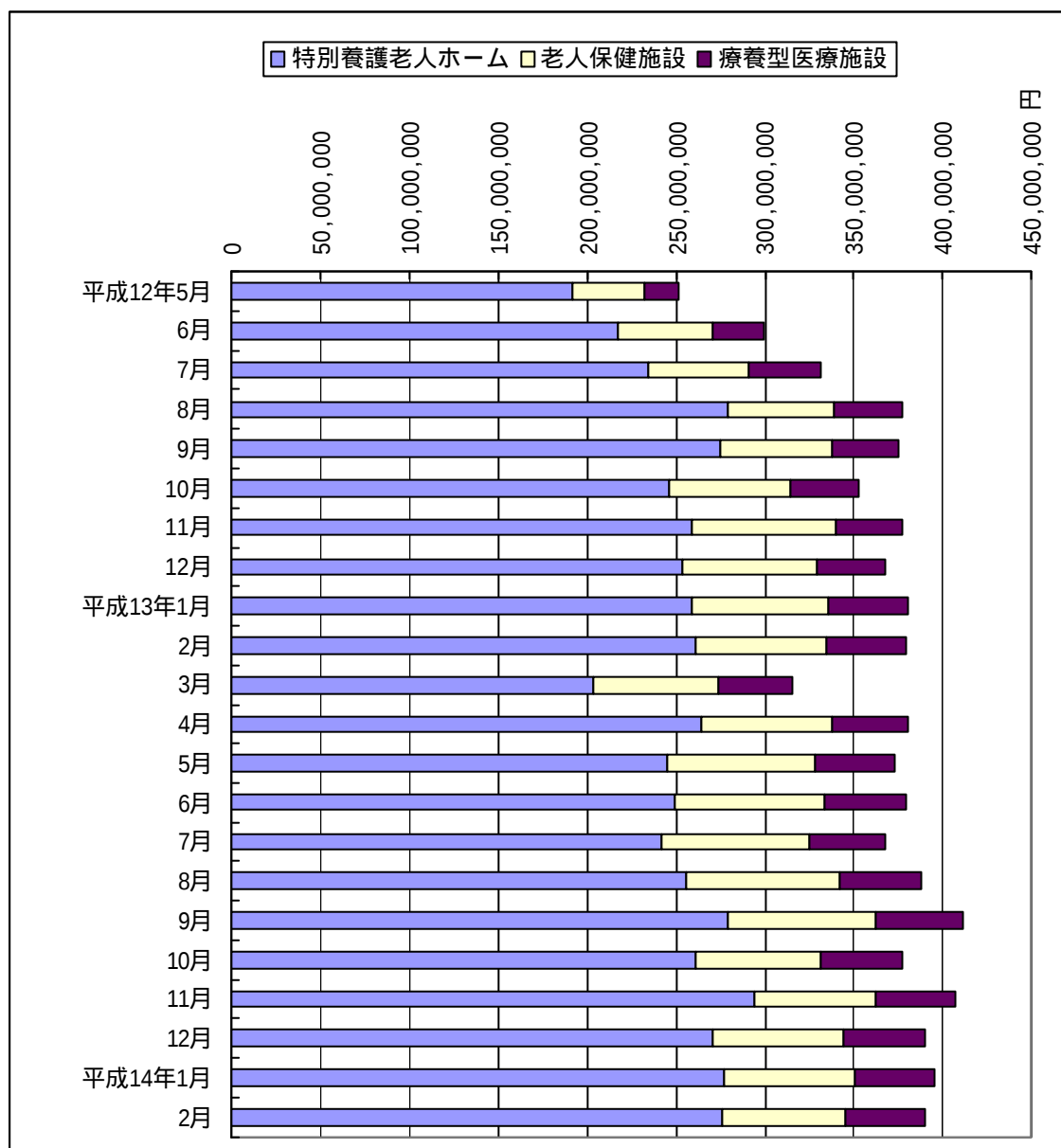
介護保険サービスの利用状況
3 施設サービスの利用状況

3 施設サービス種類別利用人数



・施設種類別のサービス利用者数を示している。

4 施設サービス種類別給付金額



・施設サービスの保険給付金額を示している。